

【海外拠点】山口銀行釜山支店、山口銀行青島支店、山口銀行大連支店、山口銀行香港駐在員事務所
【現地駐在】TTB銀行(タイ・バンコク)、日本政策金融公庫バンコク駐在員事務所(タイ・バンコク)
HD銀行(ベトナム・ホーチミン)、明倫国際法律事務所ホーチミンオフィス(ベトナム・ホーチミン)



【タイ】

現地にいるからこそわかること～タイの自転車事情を通して考える～

1. はじめに

日本と同様にタイでも新型コロナウイルスは猛威を振るっており、ピーク時(8月13日)には1日の新規感染者数が23,418人となるなど予断を許さない状況が続いています。2019年12月初旬に中国で第1例目の感染者が報告されてから瞬く間に世界中にウイルスは広がり、今なお収束の目途が立っていません。

新型コロナウイルスの発生確認当初は中国での感染拡大がメインであり、対岸の火事のように考えていた部分がありましたが、今では「With コロナ」の言葉の通り、コロナウイルスが存在する中でどのように感染を防ぎながら社会生活を営むかが課題となってきています。

以前、当アジアニュース(2020年7月:釜山支店)で取り上げましたが、コロナ禍のビジネスの世界ではリモートでの商談等が急速に普及し始めています。現地に赴かずとも活動することが可能になり、わざわざ海外出張というコストを掛けなくても、気軽に海外ビジネスに挑戦できる機会が増えています。

実際、山口フィナンシャルグループのお客様においても、タイの食品バイヤーとのオンライン商談により日本にいながらタイ向けの新たな商流を創出されています。筆者としては、日本のお客様の商品が異国の地のスーパーに並んでいる姿を見て感動すると同時に海外展開の手段の多様化を感じました。

一方で、すべての海外展開に関してリモートだけで完結できるかというもちろん限界があります。コロナ禍で渡航が簡単ではない現在、現地の私たちは日々現地ならではの情報をどのように発信するかを考えています。

今回は、「現地にいるからこそわかる」を世界的に高まっている自転車需要を切り口にご紹介したいと思います。

2. 世界的な自転車ブームの到来

コロナ禍での通勤手段の見直しや密を避けたアウトドアブームを背景に世界的に自転車への需要が高まっています。実際に、世界中の自転車メーカーに部品を供給する㈱シマノは2021年6月の中間決算において、自転車部品のセグメントが大きく伸長し、当第2四半期連結累計期間における売上高は264,694百万円(前年同期比65.2%増)、営業利益は

69,922 百万円（前年同期比 143.9%増）、経常利益は 73,900 百万円（前年同期比 104.5%増）となり、通期でも過去最高を更新する見込みとなっています。こうした自転車需要の牽引役は欧州や米国等の先進国で、日本でも自転車販売は好調なようです。

3. タイにおける自転車の普及

こういった世界的な自転車ブームの背景がありながら、タイにおける自転車の普及やブームの到来を考えると、まだまだ街ではバイクや自動車が移動手段として圧倒的多数で「エコ」や「コロナ」の観点から自転車を使う層は多くないように感じます。

ただし、コロナ感染拡大以前からスワンナプーム空港外周に「Happy and Healthy Bike Lane」という自転車専用コースが作られる等、一部でスポーツサイクル普及の兆しも見られています。

では、今後タイにおいて自転車がさらなる普及をするためにはどのようなことが課題となっているのでしょうか。その理由については諸説ありますが、今回はタイの中でも私の住むバンコクの社会的課題という観点から2つ要因を取り上げてみます。

4. 要因①圧倒的な盗難発生率

日本でも残念ながら自転車盗難はありますが、バンコクでは盗難の発生率が圧倒的に高い状況です。バンコク市内の自転車屋さんで駐輪事情についてインタビューすると以下の通りの回答でした。

【回答】

- ・公共の駐輪場ではほぼ 100%盗難が発生する。
- ・例えば、駅前の駐輪では1日目で90%以上の確率で盗難に遭う。2日目で100%の確率で盗まれる。
- ・駐輪場に停められている自転車と同じようなコンディションのもの(ボロボロで誰も盗みたくないような自転車)を利用すれば盗難を避けられる可能性がある。

大袈裟な話かもしれませんが、私が駅までの通勤用に自転車購入を相談した際に売りたいはずの自転車屋さんで真剣に通勤利用を止めるように説得されました。

これが1つ目のタイが自転車普及途上である理由です。



バンコク市内駅前駐輪場の様子（筆者撮影）

5. 要因②あまり良くない歩道状況

タイは発展途上国ではありますが、東南アジアでは早い段階から大きく発展を遂げた国です。初めて首都バンコクに来られた方はイメージする「発展途上国」とはかけ離れており、驚かれる方も多いと思います。

しかし、その一方でまだまだ整備が行き届いていない部分もあり、その一つが歩道の状況です。写真のような民家からの排水や放置された破損、ぶら下がる電線等障害物は多数あります。ちなみに電線に関しては、道路の水はけが悪いこともあり、雨季（6月～10月）の雨が強い時期に引き起こされる洪水による死亡事故にも繋がる感電事例もあります。

こうした道路事情から自転車に乗るには不便な状況であることが、2つ目のタイが自転車普及途上である理由です。



左から「民家からの排水」「放置された破損」「ぶら下がる電線」（筆者撮影）

6. 現地の課題を踏まえて

世界的な自転車需要を切り口に、タイにおける自転車普及に関する課題を「現地にいるからこそわかる」という形でご紹介いたしました。今回のように日本では当たり前である秩序（盗難発生の確率）や環境（歩道の状況）が、タイでは良好でないように、海外では日本の当たり前が同様に現地でも当たり前とならないことが多数存在します。

海外展開において、そうした現地の課題を知り、それを解決することは製品や技術を現地に普及させる1つの手段になります。

例えば、今回の自転車のケースで言えば「絶対に盗まれない自転車」があると通勤、スーパーへの買い物等の庶民の足としての用途が広がるのではないかと推測されます。また、自転車を中心に話を進めて参りましたが、歩道のコンディションを改良するような技術があれば歩行者は安心できるのではないかと考えました。

7. おわりに

今回の事例のように海外には現地にはいないとわからないことが数多く存在します。そして、そうした現地ならではの課題を解決することができるのは、本アジアニュースを読んでいらっしゃるお客様の会社の商品や技術かもしれません。

山口フィナンシャルグループでは、中国・東南アジアに海外ネットワークを持ち、お客様の海外展開のご支援をしています。

冒頭の通り、リモートを活用することで日本国内だけでなく、海外との商取引の距離が大きく縮まりました。グローバル化やビジネスの高速化が一層進む中でこのリモート技術の活用はますます大きな役割を果たすと思われます。

「リモート」と「山口フィナンシャルグループ（海外現地）」を活用し、海外をもっと身近なものにして海外展開を進めてみてはいかがでしょうか。

今、海外展開を考えていらっしゃるお客様もこれからご検討されるお客様もぜひ一度山口フィナンシャルグループにお声かけください。日本側と海外現地が一体となってあなたの会社の海外展開に寄り添います。

(山口フィナンシャルグループ 海外出向【タイ】 高木 岳史)

【参考文献】

COVID-19 Report 「タイにおける新型コロナウイルス(COVID-19)感染者の推移」

<https://jpmarket-conditions.com/COVID-19/ja/Thailand/>

The Motley Fool 「自転車業界の需要が高まる 3つの理由とは？注目企業も解説」

<https://www.motleyfool.co.jp/archives/9913>

(株)シマノ HP 「2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」

<https://www.shimano.com/jp/ir/library/cms/contents/FY2021-2Q.pdf>

DACO 「バンコクで思いっきり自転車をこぎたいなら「SKY LANE Thailand (スカイレーン・タイランド)」へ！」

<https://www.daco.co.th/information/40959/>